

かなん タウンミーティング2014  
～河南町の安全・安心 「消防広域化」～

大宝地域（5月24日）

第2部 意見交換会（○住民の発言 ●行政の発言）

- 河南町の住人が119番通報した場合、本部に繋がって直近から出動するのですか。もしその時、河南町の救急車が出動中であれば、直近から出動してもらえるのか。優先順位はどうなるのか。
- 119番は本部にかかります。広域化後は、6台の救急車がありまして市町村の区域にとらわれないう効率的な出動体制ができ、発生場所から直近にある救急車が出動することになり、優先順位としましては119番の受信順となります。
  
- より大きな組織となる広域は、賛成です。富田林市が消防の業務を受けることになるので、河南町の住民としては、町長や議会議員さんがどのように関与するのか。
- 委託という方法を取りますので、富田林市が河南町の住民の皆様の救急や消防の全責任をもつということになります。トラブルが発生した場合のために調整をするための組織を作る検討をしています。
- 委託をしても、町長として住民の皆様を守るという責務は消えないので、富田林と調整していきます。
  
- 広域は賛成ですが、現在、富田林市に委託をしている町村から富田林市に対する要望は聞いていないのか。
- 既に事務委託をしておられる町村から問題点はなく良好であることしか聞いておりません。
  
- 役場に消防に関する窓口を作って欲しい。
- 役場での部署はまだ決まってはいませんが、消防団等に関する事務はこれからも河南町で行います。
  
- 河南町消防発足の時の説明として、委託をすると緊急時の優先順位が劣勢になるとの問題や政治的に見ても増加する要素がないとのことで、独立で進めるとのことであったが近隣町村の出動体制はどうなのか。
- 出動体制の問題ですが、河南町全域の消防業務については富田林市が責任を負うことから、委託であるから疎かにされることはない。
- 本町が当時、単独消防の判断は良かったと思うが、これからは違う。委託をすることによって、マイナスの面は全くないとは言いきれないが富田林市とのコミュニケーションで補うことができ、災害や救急に関しての出動体制は、今よりはるかに向上する。
  
- 河南町としては利点があり賛成です。しかし、富田林市としてはどのような利点があって受け入れるのか。
- 地域によっては、河南分署からの方が近いところがある。また全国的に消防の広域化が進んでいる。

- 救急出動の範囲が増え、2件目の救急車の到着時間が伸びるため、河南町か近隣町に救急の予備車を配備してほしい。
- 現在の河南町の体制と変わらないように富田林市と協議をしていますが、全体としての議論になると思われる。
  
- 広域化になることによって、受け入れ医療機関が良くなる可能性があるのか。
- 広域化後も医療機関の受け入れについては、変わりありません。